

和間の風景「和間海浜公園と周防灘」



春は潮干狩り、豊かなわま平野



魅力発見!地域活性!

まちづくり  
応援  
プロジェクト

このコーナーでは、小学校区単位(地区)でまとまって地域活動に取り組む「地域コミュニティ組織」をご紹介します。



## 和間地区まちづくり協議会

周防の海 みのり豊かな 放生会の郷 和間

和間神社で神仏習合 迎講



和間地区には1300年続く伝統行事「放生会ほうじょうえ」の祭典があり、10月の祝日を含む3日間、和間9地区全ての老若男女が心ひとつに行事を行っています。伝統を継承するため教育の一環として、毎年6月に小学3年生以上で愛護少年団を結成し、授業でお囃子はやしを練習します。本番の神輿みこし行列では、大人から子どもまで一丸となって宇佐神宮から和

伝統文化「放生会」  
の継承と発展を

活動の一部をご紹介します

愛護少年団のおはやし



間神社までの8kmを練り歩きます。期間中はバレーボール大会やソフトボール大会、カラオケ大会とイベントも盛りだくさんで一年で一番盛り上がりがあります。まちづくり協議会では、表千家教授者会ご協力のもと大茶会を開催し、参拝者に本格的なお茶を無料で振る舞います。今年は残念ながら例年のように実施できませんが、盛大に開催できる際は、ぜひご参加ください。



会長  
呉藤さん

和間の散策  
おすすめスポット

### 白砂青松の地「和間海浜公園」

和間海浜公園は市内唯一の海浜公園で、素晴らしい松林とバーベキュー施設や遊具などがあり、地域の方にとっても親しまれています。4、5月の潮干狩り時期には多くの方がアサリ・マテ貝を求めて大変な賑わいを見せます。協議会としては「ビーチクリーンアップ in わま」を行い、海岸の美化活動に取り組んでいます。



問合せ/まちづくり推進課 コミュニティ係 (☎ 27-8237)



今月号から、天下を統一した豊臣秀吉の軍師として名高い官兵衛（黒田孝高、後に如水）の豊前国における活躍をお話しします。天正15年（1587年）、九州征伐の功により豊前六郡十二万石を与えられた官兵衛はまず時枝城において主人・親などへの反逆、殺人・窃盗、隠し田・過少申告を罰する旨のお触れを出します。また、検地・刀狩により石高把握と兵農分離を進めるとともに、本拠地として中津城を、豊後国からの守りとして高森城を構築します。

時枝城は時枝平太夫鎮継の居城です。平太夫は知勇兼備の武將で弥勒寺の寺務職でしたが、大友宗麟の正室の実家である奈多鑑基が宇佐神宮領を横領したことなどから大友氏に反発。大友系武將と再三戦うも敗れ、小早川氏に身を寄せます。九州征

伐で官兵衛に協力、豊前入部の際、与力となり旧領回復、時枝城を提供しました。

しかし検地・刀狩などの急激な改革や築城に伴う夫役などの地侍の不満が爆発、豊前国一揆が発生します。一揆衆は黒田方の平太夫や宇佐神宮宮司の宮成公基などを攻めますが、官兵衛の実弟で高森城主の黒田利高などの反撃により鎮圧します。その後、官兵衛は大友氏により焼き払われた宇佐神宮に三百石を寄進、上宮二之御殿を造営・修復するなど地元対策に腐心します。次号へ続く。



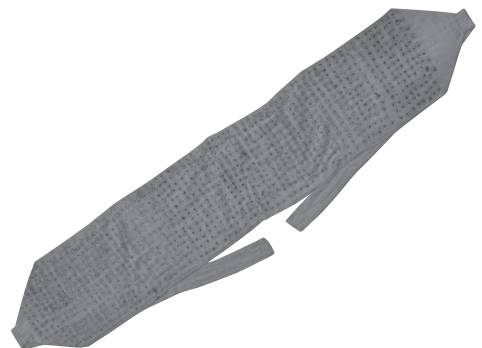
## 記憶をつなぐ

平和ミュージアム（仮称）開館に向けて  
kioku wo tsunagu

このコーナーでは「宇佐市平和ミュージアム（仮称）資料館」の開館に向け、これまで収集した資料や今に残る戦争遺構にまつわる「記憶」を紹介していきます。

### 29 千人針

この布は、出征する兵士の無事を祈るため、女性が一人一針ずつ赤糸で結び玉を縫ったもので、弾除けのお守りとして腹巻きなどにして身に着けられました。寅年生まれの女性に自分の年の数を縫ってもらうと効果が大きいとされたほか、死線（四銭）や苦戦（九銭）を越えるとして五銭硬貨や十銭硬貨を縫いつけることもありました。



■ 戦争関連資料を収集しています。提供していただける方は社会教育課 文化財係（☎ 27-8199）にご連絡ください。資料は平和の尊さを学ぶために活用いたします。

問合せ 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室（☎ 27-8200）